

やっくい

多治見市立南姫中学校
学校報 No.9
平成29年12月26日



一年を振り返って

校長 宇津 慎一

平成29年は創立から30年の節目でしたが、残りは6日となりました。天皇陛下の生前退位が決まり、年号の平成もあと1年と数ヶ月となります。そして、南姫中学校の歴史は平成とともに始まり、平成の30年間で積み重ねられてきたと、記憶に残る一年だったのではないのでしょうか。

みなさんがこの一年を振り返ったとき、米トランプ大統領就任・初来日、北朝鮮問題、将棋の藤井四段29連勝、陸上100M桐生選手の日本人初の9秒台、南姫中校区大運動会2年ぶりの開催など、いろいろな出来事がありました。一番印象的な出来事は何だったのでしょうか。

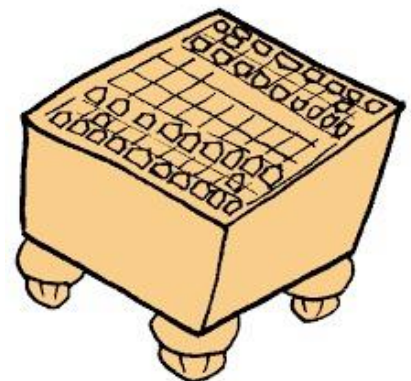
私の一番印象に残っているのは、12月5日、羽生善治棋士が前人未踏の『永世七冠』を達成したことです。『永世七冠』とはどんな偉業か分かりますか。棋界には名人、竜王、王将、王位、王座、棋王、棋聖の七つのタイトルがあります。そして、通算5期(名人)や連続5期か通算7期(竜王)など、一定の条件を満たして複数回タイトルをとると永世称号が与えられます。七つのタイトルすべてで永世称号を獲得することが、『永世七冠』ということになります。

羽生棋士は、昭和60年に、史上3人目の中学生棋士としてプロに昇格しました。その後、多くのタイトル獲得や最高勝率などを何度も達成し、25歳で「七冠」独占を達成しました。そして、21年後の今年、歴史的な偉業である『永世七冠』を達成しました。将棋といえば、前述した藤井聡太四段が注目をあびた一年でしたが、その活躍とは比べものにならない偉業になります。また、今後達成する人は現われないとも言われています。

今年、「永世竜王」を獲得する前の羽生棋士は、もう限界ではないかと思われていました。というのは、6期連続保持の「王位」を25歳の若手棋士に奪われ、その後、5期連続保持の「王座」も29歳の棋士に負けて失ったからです。しかし、今年最後の「竜王」戦でどうしても達成したい「永世竜王」、そして、前人未踏の『永世七冠』を成し遂げたのです。その羽生棋士の強さを、同世代の森内永世名人は、「技術が高い棋士なのに、多面的な思考ができる。また、確固たる基盤をもちながらも工夫を凝らし新しいものに挑戦する。常に向上心を失わず進化を続けている。」と分析しています。

みなさん一人一人がこの一年を振り返り、新しい年に各学年のまとめをどうするのか、そのために自分はどうしたいのか決意をもてるよう、よかったことや頑張ったこと、やりきれなかったことなど、自分自身をしっかりと見つめ、一年を締めくくりましょう。

終わりに、保護者の皆様には、大晦日、お正月があるこの機会に、ゆっくりと家族で過ごしていただきますようお願い申し上げます。



【1月】

行事予定

日	曜	行事予定
1	月	元日
4	木	学校閉校日 ※12/28~1/4・緊急連絡先 090-1725-2256 ※5(金)は、学校に職員が勤務します。
5	金	連合生徒会交流会
8	月	成人の日
9	火	7:50 登校 ①全校集会 SC 来校 ※放課後部活無し期間~1/18迄 原則 1620 下校
10	水	3年生実力テスト(学校報 No8 から変更) 1520 下校
11	木	身体測定 PTA 常任委員会 19:15
14	日	第3回資源回収
15	月	⑤全校研究授業(1-2 国語) 1520 下校
17	水	会議のため 1520 下校
18	木	岐阜県学力状況調査(国社数理英) ※2年対象 3年三者懇談~1/23迄
19	金	放課後部活開始 ※この日以降修了式まで、原則 1650 下校
21	日	資源回収予備日
23	火	SC 来校
25	木	3年生後学期期末テスト ※3年のみ 1345 下校
26	金	3年生後学期期末テスト 1・2年生実力テスト ⑥生徒集会
29	月	新入生保護者説明会(1330 受付 1400 南姫公民館)
31	水	⑤⑥1 年豆腐づくり 1620 下校

【2月】

- 1日(木) 第2回学校評議員会
授業参観 1・2年懇談会
- 2日(金) ALT 来校 市教研・午前授業
- 8日(木) 1・2年期末テスト①
- 9日(金) 1・2年期末テスト②
- 11日(日) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 19日(月) PTA 母親委コサージュ作り
- 20日(火) SC 来校
- 21日(水) 3年制作ベンチ贈呈式
(南姫公民館にて)
- 22日(木) 3年三味線実習
- 27日(火) 3年奉仕活動
.....
- 3月1日(木) 伝統継承の会
- 3月6日(火) 卒業証書授与式



1月14日(日)

第3回資源回収

今年度、第2回資源回収が悪天候のため実施できませんでした。PTA 活動の充実のためにも、収益金の確保が必要です。できるだけ多くの古紙や資源を提供していただけませんか。ご協力よろしくお願ひします。

【親育ちコーナー】

稼ぐ人の子ども期は

多治見市教育委員会 教育推進課

「こういう教育をしたら、こういう人間になる」とは、教育学の興味深いテーマだ。この問題を調べる方法として、成人の調査対象者に子ども期を振り返ってもらい、現在の地位や生活状況との関連を探る「回顧法」がある。例えば、年収の高い人はどういう子ども期を過ごしていたのか。

年収の高い人は、子ども時代によく本を読み、家での手伝いもよくしていたことがわかった。また、自然体験や地域行事への参加頻度なども高い。「稼ぐ人」の子ども期は勉強三昧だったかと思いきや、そうではなかった。

「体験が人を育てる」とは、よく言ったものだ。「手伝いなんていいから勉強しなさい」というのは間違いだろう。他者への共感のない勉強(ガリ勉)はエゴの増幅にしかならない。そういう子は高い確率でニートになる。子どもの生活に均衡をもたせたいものである。

(舞田敏彦・社会教育学者 日本教育新聞 821 より)

《学習費等の集金について》

いつも集金に際してのご配慮、ありがとうございます。1月の集金は、5日(金)です。4日(木)までに、残高をご確認ください。最終の集金日となります。この日までの完納にご協力ください。よろしくお願ひします。

(集金額 1年 12,200円、2年 11,200円、3年 8,900円となります。)